

# 『大工さんになろう～森の木を使って工作体験～』

<実施日>：令和元年12月1日（日）

<参加人数>：子ども20名 / 大人15名 合計 35名

<実施報告>

今回はツールボックスを作りました。小学生には曲り尺で板に線を引き、ノコギリで半分に切る作業から始めてもらい、未就学児には“げんのう”を使って釘打ちから始めてもらいました。初めて使う道具に苦戦しながらも、釘打ちでは小さい子ども、親御さんと一緒にトントンと可愛らしい音で一生懸命に釘を打ってました。最初から自分で切ったり、釘を打ち付けたりして作ったツールボックスを手に、子どもたちはとても嬉しそうでした。



ノコギリは切るのが難しいね！



先生と一緒に釘打ち



親子で一緒に釘打ち

# 『もりの冒険隊 秋の森でアスレチック』

<実施日> : 令和元年12月7日(土)

<参加人数> : 子ども11名 / 大人9名 合計20名

<実施報告>

「ジップライン」では、森の中を風を切って滑走できる爽快感から、10回以上も体験している子がいました。「トライしようレスキュー」では、一人の子がロープに逆さまにつかまり、レスキュー隊員の様にするするとロープを進んでいました。「木登り」では、全員が一番上まで登ることができ、その達成感から何度も登っていました。森のアスレチックは、頭も体も心もたくさん使って遊ぶことができるため、とても満足した様子でした。



ジップライン



トライしようレスキュー



木登り



目隠し木渡り

# 『もりの冒険隊 冬の森の観察&福島の花シール遊び』

<実施日> : 令和元年12月8日(日)

<参加人数> : 子ども7名 / 大人7名 合計14名

<実施報告>

自然観察では、ムラサキシキブの紫の実やガマズミの赤い実などが観察でき、五感をたくさん使って歩いてもらいました。

作品作りでは、水にぬらした紙に、水性の絵の具で色を付けると色のにじむ「にじみ絵」に挑戦してもらいました。さらに、乾かしたにじみ絵の上に、草花のシールを自由に貼ってもらい、作品を作り上げました。森での観察が子どもたちの感性を刺激し、豊かな表現の個性的な作品へとつながりました。



冬の森観察



台紙となりにじみ絵作り



にじみ絵の台紙に福島の花シールを貼り付ける

# 『もりの冒険隊～スノーシューハイクとそり遊び～』

<実施日>：令和2年1月18日（土）・26日（日）  
2月2日（日）・11日（火・祝）・16日（日）

<参加人数>：1月18日	子ども	8名	／	大人	7名	合計	15名
26日	子ども	14名	／	大人	11名	合計	25名
2月2日	子ども	9名	／	大人	7名	合計	16名
11日	子ども	8名	／	大人	10名	合計	18名
16日	子ども	9名	／	大人	7名	合計	16名

## <実施報告>

今年は記録的な暖冬で、5回のそり遊びの内雪が降ったのは1回のみでした。雪があれば、そり遊びやスノーシューで冬の森を楽しめますが、雪がない今年は、冬の森観察と木工クラフトに内容を変更して実施しました。案内人さんのガイドで雪がない森でも様々な発見があり、クラフトではマツボックリを使ったフクロウを作りました。



親子でそり遊び



雪遊び



雪がなくても自然観察は楽しい♪